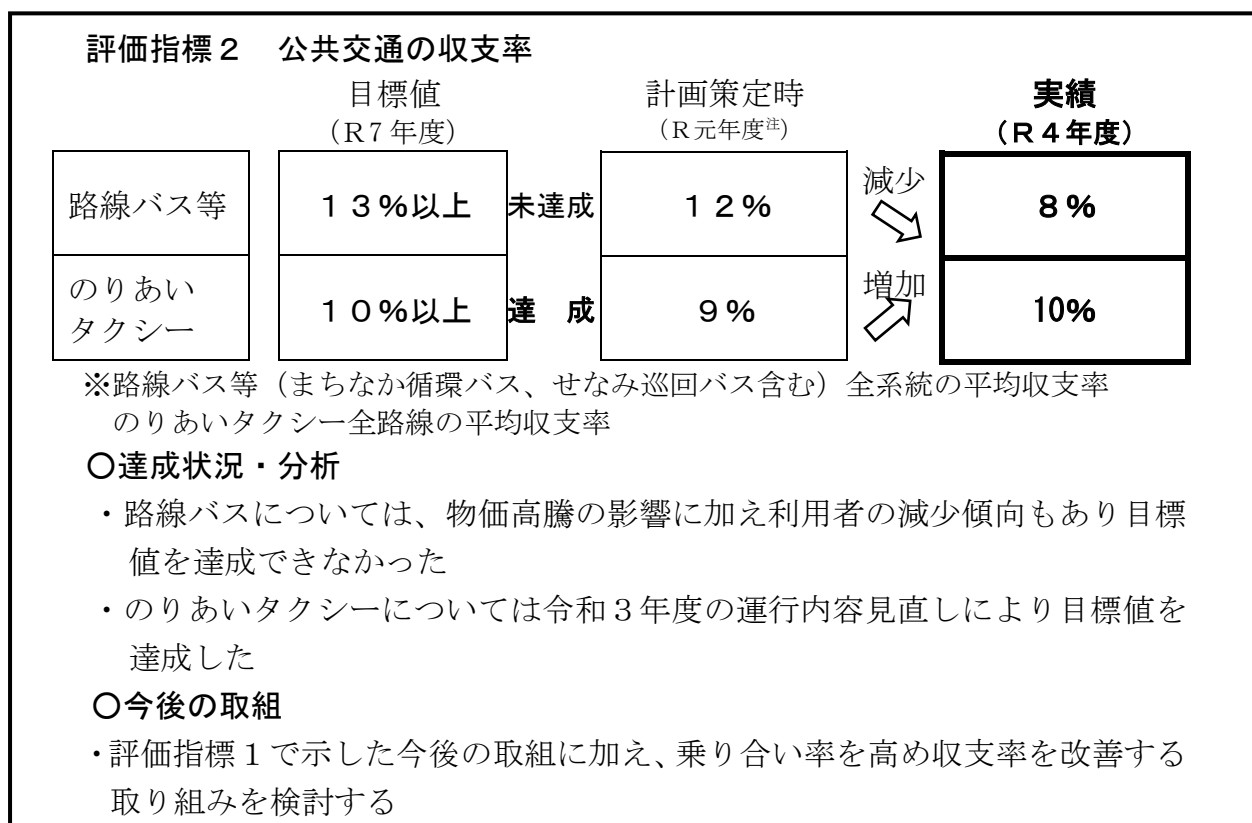
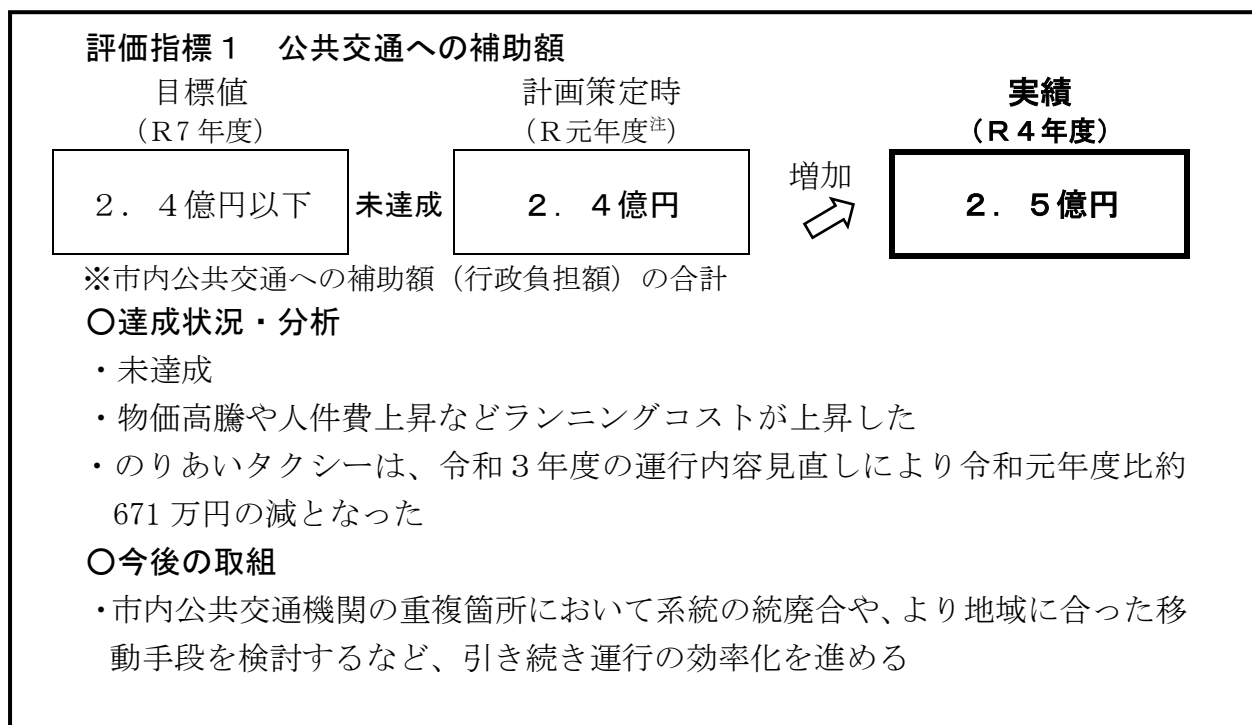


令和4年度 村上市地域公共交通計画の実施状況の検証及び評価(案)について

1 計画の達成状況及び評価について

村上市地域公共交通計画では、1年ごとに事業の実施状況や評価指標値を整理し、計画の進捗確認と効果の検証・評価を行うこととしています。



評価指標3 1人当たり年間利用回数

目標値
(R7年度)計画策定時
(R元年度^注)実績
(R4年度)

3. 0回/人以上

未達成

2. 5回/人

減少
↓

2. 1回/人

※路線バス、まちなか循環バス、せなみ巡回バス、各種のりあいタクシーの利用者の合計を人口で割った値

○達成状況・分析

- ・未達成
- ・令和3年度と比較した指標の伸び率は路線バス－7%減、のりあいタクシーは＋3%増となった
- ・路線バス利用者の減少傾向は高齢化・人口減少に伴う社会構造の変化を注視していく必要が有る

○今後の取組

- ・利用回数の増加につなげるため、社会構造の変化に合わせた地域交通の検討や、利便性の向上を進めていく

(注) 計画策定時(令和2年度(令和元年10月～令和2年9月))は、新型コロナウイルス感染症により外出自粛要請等の影響があり、各種公共交通機関の利用が著しく減少したため、基礎数値には令和元年度(平成30年10月～令和元年9月)の数値を採用している。

2 村上市地域公共交通計画評価等の結果報告について

上記の評価結果をもとに、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律第七条の二の規定により下記の表を別紙「資料1」のとおり作成し、国土交通大臣に報告します。

＜地域公共交通計画の評価等結果の様式＞

別添4

〇〇市(区町村)地域公共交通計画の評価等結果(〇年〇月～〇年〇月)

目標	目標を達成するための取組	調査方法	達成状況・分析	評価・次年度に向けた課題や取組	備考

(記載に当たっての留意事項)

- ・本様式中、表題の「(〇年〇月～〇年〇月)」の部分には、評価等の対象となる期間を記入してください。
- ・毎年度の評価になじまないような目標や、数年おきの評価を予定している目標については、「備考」の欄にその旨を明記の上、「目標」及び「備考」の欄以外は「-」と記載して下さい。
- ・一つの目標と複数の取組が対応している場合や、複数の目標と一つの取組が対応している場合には、適宜欄を修正の上、記載を行ってください。
- ・月ごとの利用者数の推移等の詳細データや、地域公共交通計画の評価等に係る協議会における議論の結果(議事録等)等の関連資料がある場合には、併せて添付して下さい。
- ・地方公共団体・協議会等において独自に作成している評価等の様式が既にある場合や、地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価を行った報告様式がある場合には、参考資料として添付して下さい。

別紙1

＜地域公共交通計画の評価等結果の様式＞

村上市地域公共交通計画の評価等結果（令和3年10月～令和4年9月）

目標	目標を達成するための取組	調査方法	達成状況・分析	評価・次年度に向けた課題や取組	備考									
<p>評価指標1 新たな公共交通の運行や、ニーズに応じた運行内容の見直しを実施しても、乗降量の補助額以下となる運行を目指す、</p> <p>目 標 値：公共交通への補助額</p> <table border="1"> <tr> <td>R1（現況値）</td> <td>R4（実績）</td> <td>R7（目標値）</td> </tr> <tr> <td>2.4億円</td> <td>2.5億円</td> <td>2.4億円以下</td> </tr> </table>	R1（現況値）	R4（実績）	R7（目標値）	2.4億円	2.5億円	2.4億円以下	<p>■事業 1-1. 路線バスの運行効率化 ■事業 2-1. のりあいタクシーの運行効率化 ■事業 3-1. 高速のりあいタクシーの運行効率化</p>	<p>利用状況調査により集計</p>	<p>・未達成 ・物価高騰や人件費上昇などラニングコストが上昇したのりあいタクシーは、令和3年度の運行内容見直しにより令和元年度比約671万円の減となった</p>	<p>・市内公共交通機関の営業箇所において乗降の状況や、より地域に合った移動手段を検討するなど、引き続き運行の効率化を進める</p>				
R1（現況値）	R4（実績）	R7（目標値）												
2.4億円	2.5億円	2.4億円以下												
<p>評価指標2 改善等の運行効率化を図りながら、ニーズに合わせた運行内容の見直しによる利便性向上や利用促進に取り組み、利用者数を増加させることで収支率の向上を目指す、</p> <p>目 標 値：公共交通の収支率</p> <table border="1"> <tr> <td>R1（現況値）</td> <td>R4（実績）</td> <td>R7（目標値）</td> </tr> <tr> <td>12%</td> <td>8%</td> <td>13%以上</td> </tr> <tr> <td>のりあいタクシー</td> <td>10%</td> <td>10%以上</td> </tr> </table>	R1（現況値）	R4（実績）	R7（目標値）	12%	8%	13%以上	のりあいタクシー	10%	10%以上	<p>■事業 1-1. 路線バスの運行効率化 ■事業 2-1. のりあいタクシーの運行効率化 ■事業 3-1. 高速のりあいタクシーの運行効率化 ■事業 3-2. 高速のりあいタクシーの利用料金の見直し</p>	<p>利用状況調査により集計</p>	<p>・一部達成 ・路線バスについては、物価高騰の影響に加え利用者の減少傾向もあり目標値を達成できなかった ・のりあいタクシーについては令和3年度の運行内容見直しにより目標値に達した</p>	<p>・評価指標1で示した今後の取り組みに加え、乗り合い車を高め収支率を改善する取り組みを検討する</p>	
R1（現況値）	R4（実績）	R7（目標値）												
12%	8%	13%以上												
のりあいタクシー	10%	10%以上												
<p>評価指標3 公共交通の利便性向上や利用促進により、市民1人当たりの利用回数の増加を目指す、</p> <p>目 標 値：1人当たり年間利用回数</p> <table border="1"> <tr> <td>R1（現況値）</td> <td>R4（実績）</td> <td>R7（目標値）</td> </tr> <tr> <td>2.5回/人</td> <td>2.1回/人</td> <td>3.0回/人</td> </tr> </table>	R1（現況値）	R4（実績）	R7（目標値）	2.5回/人	2.1回/人	3.0回/人	<p>■事業 1-1. 路線バスの運行効率化 ■事業 1-3. 学生や高齢者の運賃割引等の検討 ■事業 2-1. のりあいタクシーの運行効率化 ■事業 2-2. 分かりやすい利用料金への見直し</p>	<p>利用状況調査により集計</p>	<p>・未達成 ・令和3年度と比較した指標の伸び率は路線バス7%減、のりあいタクシーは+3%増となった ・路線バス利用者の減少傾向は高齢化・人口減少に伴う社会構造の変化を注視していく必要がある</p>	<p>・利用回数の増加につなげるため、社会構造の変化に合わせて地域交通の検討や、利便性の向上を進めていく</p>				
R1（現況値）	R4（実績）	R7（目標値）												
2.5回/人	2.1回/人	3.0回/人												

（記載に当たっての留意事項）

- ・ 本様式中、表題の「(〇年〇月～〇年〇月)」の部分には、評価等の対象となる期間を記入してください。
- ・ 毎年度の評価は前年度よりよいよう目標や、数年おきの評価を予定している目標については、「備考」の欄にその旨を明記の上、「目標」の欄以外は「-」と記載して下さい。
- ・ 一つの目標と複数の取組が対応している場合や、複数の目標と一つの取組が対応している場合には、適宜欄を修正の上、記載を行ってください。
- ・ 月ごとの利用者数の推移等の詳細データや、地域公共交通計画の評価等に関する協議会における議論の結果（議事録等）等の関連資料がある場合には、併せて添付して下さい。
- ・ 地方公共団体・協議会等において独自に作成している評価等の様式が既に存在する場合や、地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価を行った報告様式がある場合には、趣意資料として添付して下さい。

村上市地域公共交通計画（抄）

第7章 計画の推進

7.2 評価指標と目標値の設定

○本計画の目標の達成状況を評価する指標を、下記のとおり設定します。

評価指標① 公共交通への補助額		
目標値	現況値（令和元年度）注	目標値（令和7年度）
	2.4億円	2.4億円以下
現況値の算定根拠	○市内公共交通への補助額（行政負担額）の合計。 ・対象期間：平成30年10月～令和元年9月	
目標値の考え方	○新たな公共交通の運行や、ニーズに応じた運行内容の見直しを実施しても、現況値の補助額以下となる運行を目指します。	
評価指標② 公共交通の収支率		
目標値	現況値（令和元年度）注	目標値（令和7年度）
	路線バス等：12% のりあいタクシー：9%	路線バス等：13%以上 のりあいタクシー：10%以上
現況値の算定根拠	○路線バス等（まちなか循環バス、せなみ巡回バス含む）全系統の平均収支率。 ○のりあいタクシー全路線の平均収支率。 ・対象期間：平成30年10月～令和元年9月	
目標値の考え方	○重複運行の改善等の運行効率化を図りながら、ニーズに合わせた運行内容の見直しによる利便性向上や利用促進に取り組み、利用者数を増加させることで収支率の向上を目指します。	
評価指標③ 1人当たり年間利用回数		
目標値	現況値（令和元年度）注	目標値（令和7年度）
	2.5回/人	3.0回/人以上
現況値の算定根拠	○路線バス、まちなか循環バス、せなみ巡回バス、各種のりあいタクシーの利用者数の合計を人口で割った値。 ・対象期間：平成30年10月～令和元年9月 ・年間利用回数：151,237回 ※各公共交通の利用者数はp.25～28参照。 ・人口：59,822人（住民基本台帳平成31年4月1日現在）	
目標値の考え方	○公共交通の利便性向上や利用促進により、市民1人当たりの利用回数の増加を目指します。 ※人口は、令和7年将来推計人口（国立社会保障・人口問題研究所）より53,705人と仮定すると、年間利用回数は161,115回（月当たり：13,426回、日当たり：441回）と推計される。	

注）令和2年度（令和元年10月～令和2年9月）は、新型コロナウイルス感染症により外出自粛要請等の影響があり、各種公共交通機関の利用が著しく減少したため、令和元年度（平成30年10月～令和元年9月）を算定時の基礎数値に設定した。